

日独サステナブル建築フォーラム in東京

～これからの住宅産業が提供すべき『新たな豊かさ』とは～



3.11以降、日本国民の住まいに対する欲求は大きく変化いたしました。いや、原点に帰ったというべきでしょうか。それまではイニシャルコストしか気にしない「近視眼的なローコスト住宅」、小手先だけの「エコ住宅」、様々な住宅がありました。太古の昔から、人が豊かに暮らすための住まいの条件は3つだと我々は考えます。「健康」「経済」「コミュニティ」これら3つが満足されなければ、おそらく人はその家に不満を抱くことでしょう。はたして「健康」「経済」「コミュニティ」を満足させる住まいとはどのような家なのでしょう。その解を皆で考える。それがこのたびのフォーラムの狙いです。奮ってご参加ください。

ご参加希望の方はFAXかメールにてお申し込みください。

日時 2013年10月29日(火)13:45~17:30 (13:00開場)

会場 六本木ヒルズ49階タワーホール 東京都港区六本木6-10-1 シンポジウムは同時通訳あり

参加費 5000円 (事前振込をお願い致します。)

振込口座
 ジャパンネット銀行 本店営業部(001)
 普通 3296582
 社)クラブヴォーバン

プログラム

- 13:00 受付開始
- 13:45 主催者挨拶
- 13:50 来賓挨拶
- 14:00 特別講演①
- 14:45 特別講演②
- 15:30 休憩・名刺交換会
- 15:50 パネルディスカッション
- 17:30 閉会

基調講演①

テーマ：「ドイツのプラスエネルギーハウスの現状」
 ドイツ国交省 ハンスディーター・ヘグナー氏

基調講演②

テーマ：「未来都市構想 環境負荷削減と環境品質向上」
 建築環境・省エネルギー機構 (IBEC) 理事長 村上周三氏

ディスカッション

これからの住宅産業が提供すべき『新たな豊かさ』とは
 ファシリテーター：村上 敦氏 ジャーナリスト
 長嶋 修氏 長嶋修事務所代表
 中谷哲郎氏 日本エネルギー機関代表
 村上周三氏
 ハンス＝ディーター・ヘグナー氏

- 主催 一般社団法人 クラブ・ヴォーバン
- 協力 日本エネルギー機関 日本エネルギーパス協会 エコセンターNRW(ドイツ) パッシブハウス・ジャパン
- 協賛 東京ガス LIXIL マグ・イゾバール 日本ERI エディフィス省エネテック 低燃費住宅普及の会 大日化成
- 後援 国土交通省(予定)

参加申込書

貴社名:			
①お名前:	E-mail	TEL	
②お名前:	E-mail	FAX	
返送先 FAX:03-5157-3178 E-mail:support@jena-web.jp		【企画・運営】 クラブヴォーバン東京事務所 TEL:03-6205-4493 事務局 担当:市瀬・小出	
必ずどちらかにチェックをしてFAX送信してください。		ジャパンネット銀行 本店営業部(001) 普通 3296582 一般社団法人 クラブヴォーバン	
<input type="checkbox"/> 振込済	<input type="checkbox"/> 後日振込 (月 日振込予定)		

登壇者紹介



ハンス＝ディーター・ヘグナー氏

ドイツ国土交通省 持続可能な建築部部長

ソフィア大学建築学科ディプロム過程修了後、個人設計事務所に勤務。旧東ドイツ科学技術省建築部門に採用。東西ドイツ統一後は新築、既存建築物の省エネ化の専門家として、現在の連邦交通・建設・都市開発省(BMVBS)の前身である省庁にて勤務。現在は同省において建築物の省エネ化、持続可能な建築物の推進を担当する専門部局の部長を務める。同時に、ドイツ工業規格設定のための専門家諮問委員会における委員長、ドイツ建築技術研究所(DIBt)における専門家諮問委員会A「断熱と防音のための建材と建築手法」の委員長も兼任する。



村上周三氏

1967年 東京大学大学院工学系研究科建築学専攻修士課程修了 工学博士。1985年 東京大学生産研究所教授、1999年デンマーク工科大学(DTU)客員教授、2001年慶應義塾大学理工学部教授、2008年独立行政法人建築研究所理事長を経て2012年より現職(就任は2003年～)。専門は建築・都市環境工学。空気調和・衛生工学会会長、日本建築学会会長等を歴任。IPCC第5次評価報告書の主執筆者。主な著書に「低炭素社会におけるエネルギーマネジメント」(共著、慶應義塾大学出版会、2010年)、「スリム&スマート未来都市構想」(単著、エネルギーフォーラム、2012年)、他多数。



長嶋修氏

1967年生まれ。住宅メーカーにて営業、企画、開発を経験後、1997年から営業支店長として幅広い不動産売買業務全般に携わる。日々の不動産取引現場において『生活者にとって本当に安心できる不動産取引』『業界人が誇りをもてる仕事』『日本の不動産市場のあるべき姿』を模索するうちに、『第三者性を堅持した不動産のプロフェッショナル』が取引現場に必要なことを確信。1999年、『人と不動産のより幸せな関係』を追求するために、業界初の個人向け不動産コンサルティング会社『不動産調査 さくら事務所(現 株式会社さくら事務所)』を設立する。マイホーム購入・不動産投資など、不動産購入ノウハウにとどまらず、業界・政策提言や社会問題全般にも言及するなど、精力的に活動している。



大島芳彦氏

1970年東京生まれ。(株)ブルースタジオ専務取締役 1993年武蔵野美術大学造形学部建築学科卒業。

The Bartlett, University College London(英国)、Southern California Institute of Architecture(米国)に学ぶ。石本建築事務所を経て2000年に(株)ブルースタジオ一級建築士事務所取締役就任。2005年に(株)ホワイトスタジオ設立、代表取締役就任。建築家、不動産コンサルタントとして、自由かつ斬新な建築作品を多数手がける。特にコンバージョン・リノベーションにおいては、「ラティス青山」をはじめ、06・07年にグッドデザイン賞連続受賞など高い実績を誇る。その他セミナー講演や執筆活動など、幅広いフィールドで活躍中。



村上敦氏

1971年生まれ。ドイツ・フライブルク市在住、環境ジャーナリスト。技術者としてゼネコン勤務を経て、97年に渡独後、まちづくり、交通計画、エネルギーを主なテーマとして、ドイツや欧州の先進事例を調査、日本に情報発信している。Office Murakami代表。電子・紙媒体を問わず、数々のレポートを執筆。企業のコンサルティングも行う。

著書:「kWh = ¥(キロワットアワー・イット・マネー) 「100%再生可能へ! 欧州のエネルギー自立地域」など

<http://www.murakamiatsushi.net/>



中谷哲郎氏

1972年生まれ。亀岡大郎取材班グループに入社後、ベンチャー雑誌「月刊ビジネスチャンス」、「週刊ビル経営」「週刊全国賃貸住宅新聞社」などで取材活動。リフォーム産業新聞社に異動後、平成18年にリフォーム産業新聞、工務店新聞の取締役編集長に就任。13年の記者活動で全国の住宅・建築・不動産経営者への取材は数千人。平成24年に退社し、株式会社日本エネルギー機関(JENA)を設立、代表取締役に就任する。